

情報リテラシー教育の再考

～図書館目線ではない～

～教育学習への直接的な支援に向けて～

 OSAKA UNIVERSITY
Live Locally, Grow Globally

久保山 健 (KUBOYAMA Takeshi)

大阪大学附属図書館 学術情報整備室 (図書受入主担当)

<November 20, 2015>

学術情報リテラシー教育担当者研修

会場： 国立情報学研究所

事後公開版

(0) はじめに

■ 到達目標

- 大学教育、ICTを巡る環境変化の中で、情報リテラシー教育／学修支援のあり方を考える。
- 受講者の職場における対応策を考え、次の行動につなげる。

(0) はじめに

■ 本講義の要点

「情報リテラシー教育の再考」

◆ 大学教育との距離の縮め方を考える

-- 顔の見える関係から問題意識・関心の共有 --

◆ ユーザインタフェースを改めて考える

-- フロントにいる人も説明不要のデザインを --

◆ 学生に伝える内容を考える

-- 直接的な支援に向けてトライ・アンド・エラーを --

(0) はじめに

- 講師／職場のバックグラウンド
 - 図書館スタッフ：授業コマ
 - Teaching Assistant：学習相談、講習など
 - 教員と図書館スタッフ：
 - レポート講座
 - 論文の書き方・読み方
 - プレゼン入門：話す基本技術



(0) はじめに

- 多言語多文化理解のための共同学習スペース
- 2012年11月オープン
- 学びのスタイルの多様化
- 国際化



- 個別／グループインタビュー
※「結果」より「過程」

(0) はじめに

■ 情報リテラシー教育のステレオタイプ

- 図書館は便利なんだから、しっかり使って勉強してね。
- OPACも文献DBも、便利なんだからちゃんと覚えてね。
- 前方一致とか論理演算とか使って、ちゃんと調べてね。
- レポートや卒論の締切直前に慌てないよう、計画的にね。

<皆さんの悩み(推測)>

- スキルの引継ぎ ; 人員 ; プレゼン技術向上
- 学生を飽きさせないように ; 内容
- 参加者数 ・ 広報 ・ ニーズの把握
- 教員等との連携

「アクティブ・ラーニング」体験

●EQトーク

- ・「いいね」「共感する」「大事」
→ 「！」(Exclamation Mark)を記入
- ・「疑問」「反論」「もっと知りたい」
→ 「？」(Question Mark)を記入

*これを元に事後の議論をすると、議論になれていない受講者も議論に参加しやすい。佐藤浩章先生(現在、阪大)の発案とか。

●Yes/No カード

*挙手では無反応の学生がいるが、反応を引き出しやすい。
教科書の表/ウラ、色違いの付箋紙を貼り合わせなど、別法あり。

(*)大阪大学教育学習支援センター「コースデザインワークショップ」(2015.8)で紹介された手法の一部。

(1)大学教育との距離の縮め方

■ステークホルダー

- 学生

学習、知識やスキルの習得
卒業～キャリア形成

- 教員

教育、知識やスキルの伝達・習得を促す

※学生や教員にとっての「価値」とは何か

(1)大学教育との距離の縮め方

■プレイヤー

- 共通教育、教育学習支援部門
(各教員・各種サポート室)
- 学生 (まずは図書館によく来る／図書館に近い活動
をしている層)
- 各部局 (各教員)
- 情報系の部署
- 国際交流の部署
- 学生支援／キャリア支援の部署

(1) 大学教育との距離の縮め方

■ 教育との距離の縮め方 (例)

(1) 講習会などの「商品化・事業化」

問題意識を共有できる教員と協働

話題の共通性；話題の広がり

(2) 授業、講習会、新コモンズのグループインタビュー、パンキョー革命

→ 「顔の見える関係」

(1)大学教育との距離の縮め方

(3)接点を増やして、価値観や方向性の共有

(*)教員や学生の行動や考えていることって分かる？

まずは雑談から？

他のイベントで接点作りも。

(2013.1～) 1-2回生によるプレゼンイベント、クラス代表懇談会、学生による本の出版企画ショセキカに協力・阪大生の著者トーク共催、学生による本の展示

(4)グローバル・コモンズ

…さえもマーケティング・ツール!?



(1) 大学教育との距離の縮め方

■ グローバル・コモンズ開設時(2012.11)

(情報リテラシー教育とは直接関係ないけども…)

○ 意識したのは 「自分目線の排除」

○ 実感したのは 「好みの多様さ」 (テーブルやイスなど)

- ・ 具体的には、テーブル、イスの形、座りたい場所など



グループ・インタビュー(2012.5.1)



グループ・インタビュー(2012.5.24)



(1)大学教育との距離の縮め方

■ さらに、授業で必要とされる 「サービスマニュー」 の共同開発、サポートのニーズなどに発展すれば…

■ 大事ななのは

「声かけ」

「小さな機会を活かす」

※時間や性格的に誰にでもできない?

→必要と感じるなら努力を

→ほんとに無理なら、同僚のサポート、後押しを

(2) ユーザインタフェースを考える

- ディスカバリ・サービス、次世代型カタログの広がり、デバイスの変化
- それ以前に、種々の検索サービスに「マニュアル」がある？ 見る？
- 説明が必要なツールを提供している？

(2) ユーザインタフェースを考える

■ 皆さんへの期待

- 皆さんの立場 = ユーザ対応のフロント
- 蔵書検索等、サービス改善の[後方]支援
 - ・ システムのことよく分からない?
→ 情報の重要度、使いやすさはどう?
 - ・ 使い方を教えなくてよいデザイン

(2) ユーザインタフェースを考える

■ 質問

- 情報の重要度、説明を減らすための見せ方の観点で、次の画面例の問題点を考えよう。

・ NEC/CMS製

SEの教科書 / 深沢隆司著

(技評SE選書 ; 00)

詳細を非表示

版	完全版
出版者	東京 : 技術評論社
出版年	2009.11
大きさ	349p : 挿図 ; 19cm
別書名	表紙タイトル:The pragmatic manual 異なりアクセスタイトル:SEの教科書
一般注記	『SEの教科書』『SEの教科書 2』に加筆・修正し、再構成したもの
著者標目	深沢, 隆司 <フカ
件名	BSH:情報産業 BSH:情報処理技 NDLSH:システム NDLSH:システム NDLSH:プロジェ
分類	NDC8:007.3 NDC9:007.35 NDC9:007
本文言語	日本語
コード類	書誌ID=2004219

①書名等の見せ方

- 見出しは全て同じフォント
- 詳細情報が同じフォントで、画面の上部、全体を占めている。
- 情報の重要度は?

②使用意図不明の記号

- スラッシュは一般的に "or" を示すのでは。
- まさか、"スラッシュより前が書名" と説明!?
- 書籍の特定に必要な項目をコンパクトに出す。

③所在情報の位置

- 重要度"高"の情報が下部に
- さらに重要度で文字の大きさなど変えられないか。

EndNote/EndNote Web出力



巻次	配架場所	請求記号	登録番号	状態	利用注記	コメント	ISBN	刷年	予約/取寄	複写
	総合図-A 棟2階キ ャリア支 援図書	007.35/FUK	10301681762	貸出中[2012.10.09返却期限]			9784774140162		申込み	

＜参考＞ 蔵書検索の表示項目・方法
図書館サイト、ディスカバリーも含めた見せ方も合わせて考えるべきですが。

図書館を使う

サービス案内

図書館利用証の種類

学外の方へ

図書館・室マップ

講習会・イベント

資料の探し方ガイド

オンラインサービスガイド

予約・貸出更新ガイド

返却期限日お知らせメール

蔵書検索

論文検索

貴重資料画像

他大学検索

横

簡易検索

詳細検索

レビュー・タグを含む

SEの

SEのためのコーチング

SEのための仕様の基礎

SEのための内部統制

SEのための流通の基礎

SEのための見積りの基礎

SEのための通信プロトコル

SEのための銀行三大業務入門

SEのトホホな舞台裏

SEの基礎知識

SEの思考法と技術

京都大学蔵書検索. 2015.10.6.参照
・ 富士通製
(他に、[神戸学院大](#)、[大阪歯科大](#)など)

図書館機構

京都大学

書誌詳細

[京都大学蔵書検索](#). 2015.10.6.参照
 ・富士通製
 (他に、[神戸学院大](#)、[大阪歯科大](#)など)

▲ [検索結果一覧へ戻る](#)



SEの教科書

深沢隆司著. -- 完全版. -- 技術評論社, 2009. -- (技評SE選書 ; 001).
 <BB03193956>

総合評価: ★★★★★

登録タグ: 登録されているタグはありません

便利機能: [ブックマーク](#) [出力](#) [メール](#) [文献管理](#)

▶ [目次・あらすじを見る](#) ▶ [レビューを見る](#) ▶ [詳細情報を見る](#)

書誌URL: [選択](#)

所蔵一覧 1件~1件 (全1件)

10件 ▼

No.	巻号	所蔵館	配置場所	請求記号	資料ID	状態	返却予定日	予約
0001		附図	2F 開架	M 159 E62	200015199945			21

DOORS (同志社大学図書 ×)

← → ↻ https://doors.doshisha.ac.jp/opac/opac_details/?r

Doshisha University [同志社大学ホーム](#) [入学試](#)



DOORS 同志社大学 学術情報検索システム
DOshisha Online Retrieval System

[同志社大学\(NEC/CMS\)](#)
[十文字学園女子大学\(日本事務器\)](#)
[千葉工業大学\(京セラ丸善\)](#)
 2015.10.6 ~ 11.11.参照

・ NEC/CMS : 他に[跡見学園女子大学](#)、[一橋大学](#) * 下部に「類似資料」

DOORS 図書館サービス My D

簡易検索 **分かりやすい表現の**

[検索結果一覧に戻る](#)



「分かりやすい表現」の技術
藤沢晃治
表現が下手ではみんなを迷わせる!
世界一受けたい授業に著者が出演!

十文字学園女子大学 図書 ×

← → ↻ opac.jumonji-u.ac.jp/search/detail.do?rowIndex=0&method=detail&bibId=U1

TOP | 詳細検索 | ブラウズ | ジャーナル検索 (ABC/アイエ) 順 | データベース | リンク

クイックサーチ

▶ 詳細検索 → ▶ 一覧 [全て] わかりやすい ひ → 図書 [詳細] 「分かりやすい表現」の技術 著||ワカリヤスイヒョウゲン ノギ...

図書情報詳細

項目名	
書誌ID	U100122393
図雑/和洋	図書/和書
NACSIS ID	BA40629461
書名/著者	「分かりやすい表現」の著 ワカリヤスイヒョウゲン 16 ノールール
VOL	[ISBN]4062572451
出版者	東京 : 講談社, 1999.9

書誌蔵書検索 : 詳細表示 ×

← → ↻ opac2.lib.it-chiba.ac.jp/scripts/mgwms

他のサイトを検索

Powered by Google



書誌番号	 BB00
標題および責任表示	「分かりやすい表現」の技術
巻冊次等	ISBN: 9784
著者名	藤沢, 晃治
出版者名	講談社
出版地	東京
出版年月	2011.10

メール送信

ファイル出力

RefWorks出力

他の検索サイト

[Webcat Plus](#)

新潟大学 (NTTデータ九州)

他に、鳥取大学など

九州工業大学 (リコー) 2015.10.6.参照

* なかなか消えない「請求記号」

→ 九州大学では「所在記号」



◀ 前のレコード



「分かりやすい表現」

フォーマット:

責任表示:

出版情報:

形態:

ISBN:

シリーズ名:

著者名:

書誌ID:

注記:

>> [Google Books](#)

ブックマーク登録

Text

BibTex

Refer/BibIX

RefWorks



九州工業大学附属図書館

所蔵資料を検索

検索



検索結果詳細: 図書

検索

「分かりやすい表現」の技術: 意図を正しく伝える



ワカリヤスイヒョウゲン ノギジュツ: イ

16 ノルール

藤沢晃治著

東京: 講談社, 1999.3

[Google Books](#) で詳細を見る

- 下部に「この本を借りた人は…」
- リコー: 他に 北海道教育大学
- 先頭ページはDrupal使用?

NEC/CMS製の各蔵書検索画面

北海道大学、大阪大学、立命館大学 2015.10.6-27.参照
言葉の使い方、表記の統一、トップへの
リンク、ファビコンへの配慮



メーカーさんに、何かの機会に、
説明不要のデザインについて、
要望を伝える（少していい）。
それが改善につながる。



◆蔵書検索のインターフェースについて、各社をまじえた意見交換？
共通指針？

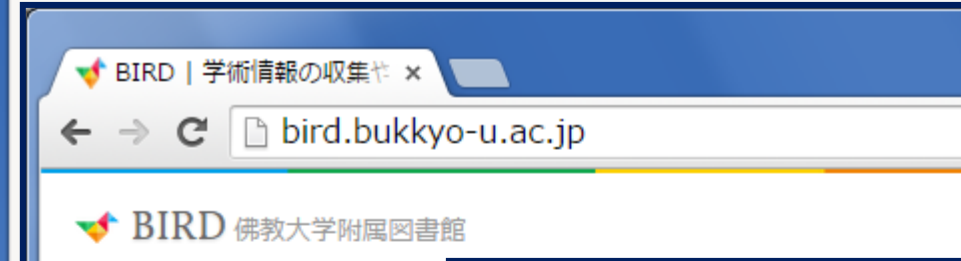


図書館Webサイトのトレンドは、検索窓を目立つ位置に配置？

(例)・[大阪大学](#) ・[九州大学](#) *

- ・[筑波大学](#) ・[広島大学](#)
- ・[青山学院大学](#) ・[国際基督教大学](#)
- ・[仏教大学](#) (2015.3.リニューアル) *
- ・[University of Pittsburgh](#) (US) *
- ・[University of Guelph](#) (CAN)
- ・[University of Sheffield](#) (UK)

*画面を引用 (2015.10.6-14.参照)

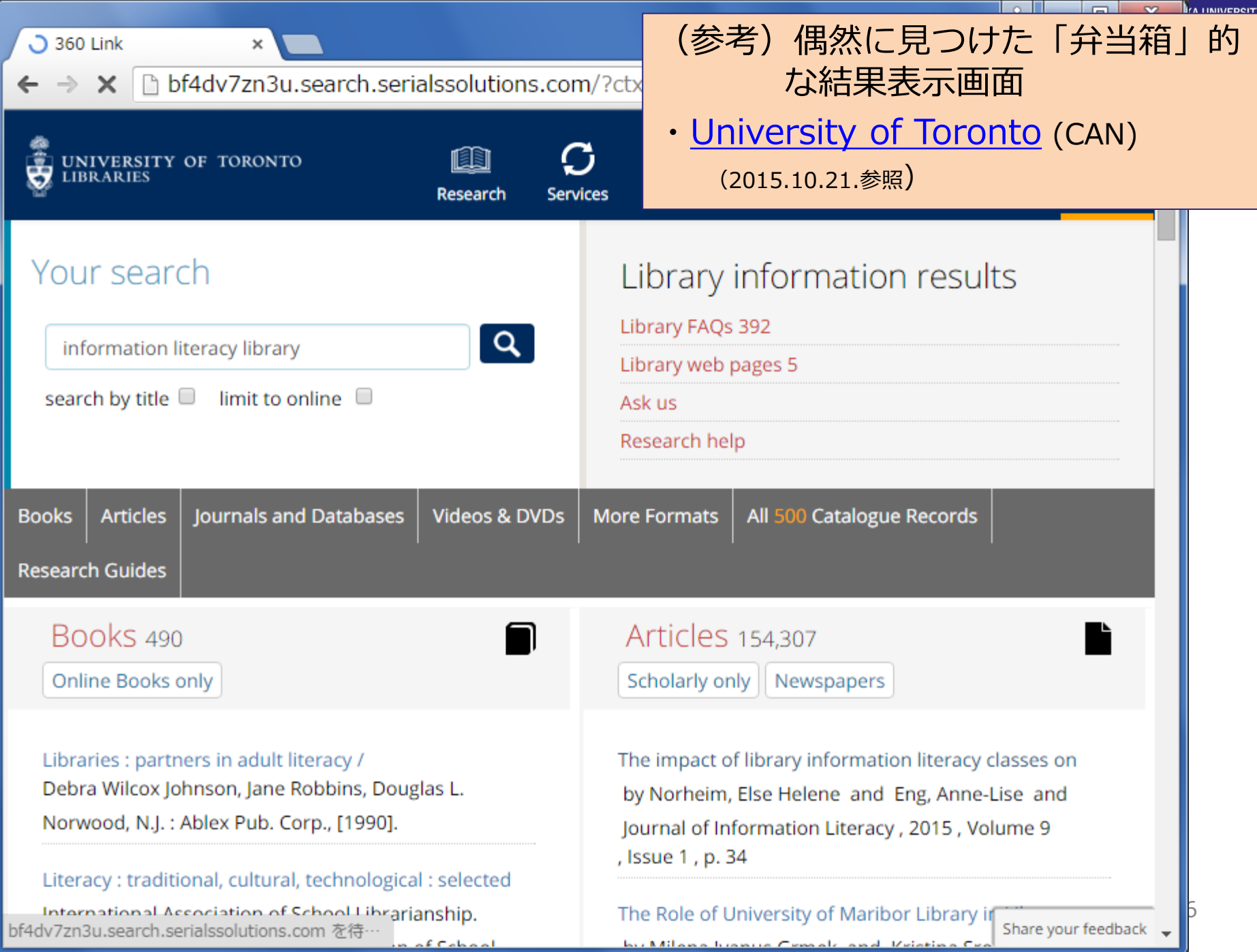


* 国内：蔵書検索がトップの例が多い。

* 欧米：Discovery Service がトップの例が多い印象。

(九州大学の事例)

[「九州大学附属図書館のWebサイトに関するアンケート実施報告」](#) (九州大学附属図書館研究開発室年報. 2014/2015)



(参考) 偶然に見つけた「弁当箱」的な結果表示画面

- [University of Toronto](#) (CAN)
(2015.10.21.参照)

Your search

information literacy library



search by title limit to online

Library information results

[Library FAQs 392](#)

[Library web pages 5](#)

[Ask us](#)

[Research help](#)

[Books](#) [Articles](#) [Journals and Databases](#) [Videos & DVDs](#) [More Formats](#) [All 500 Catalogue Records](#)

[Research Guides](#)

Books 490



[Online Books only](#)

[Libraries : partners in adult literacy / Debra Wilcox Johnson, Jane Robbins, Douglas L. Norwood, N.J. : Ablex Pub. Corp., \[1990\].](#)

[Literacy : traditional, cultural, technological : selected International Association of School Librarianship.](#)

Articles 154,307



[Scholarly only](#) [Newspapers](#)

[The impact of library information literacy classes on by Norheim, Else Helene and Eng, Anne-Lise and Journal of Information Literacy , 2015 , Volume 9 , Issue 1 , p. 34](#)

[The Role of University of Maribor Library in](#)

Share your feedback



秋冬も「旅割75%」
3月26日まで

よくあるご質問 国際線システム移行に関するご質問

■ 私的に参考にするサイト
・ [ANA](#)、[JAL](#) 2015.10.2.参照

Japan 日本語

お体の不自由なお客さまへ お問い合わせ

国内線 国際線 国内ツアー 海外ツアー JALマイレージバンク

国内線航空券予約

航空券 往復 片道 [履歴](#)

航空券 + 宿泊

ホテル・レンタカー

運航状況

出発 大阪(伊丹)

到着 大阪(伊丹)

行き 10月2日(金)

帰り 10月3日(土)

(*) ANA SKY WEBを大幅にリニューアル！(2013.7.22 プレスリリース)
<http://www.ana.co.jp/pr/130709/13-070.html>

(*) [2015年]4月16日よりJALホームページを大きくリニューアル。
<https://www.jal.co.jp/renewal2015/>

JALマイレージバンク

年会費無料！今すぐ入会 [会員ログイン](#)

FLY to 2020 特別塗装機 好評運航

日本航空は、東京2020オリンピック・パラリンピックのオフィシャルエアライン



INFORMATION / ANA

ボーイング787型機
【ご案内】オンライン
羽田空港 出発口
10/1 「新自動チェック
9/8 2015年9月8日より
プレスリリースはこちら

TOPICS / トピックス

国内線ご予約・購入済のお客さま

(参考) こんなに細かい操作手順を掲載!?

・ 東海道・山陽新幹線 エクスプレス予約

https://expy.jp/renew2015/how_to/pc.html

2015.10.2.参照

* 会員には郵送で、細かい文字で手順を記したA4サイズ程度の紙が送られた。

(*) 「『エクスプレス予約』が新しくなりました」

<https://expy.jp/renew2015/>

・ 特長は明示されているが「必ずご覧ください」と?

* 2015.8.29.からの画面リニューアル。

(2) ユーザインタフェースを考える

- 文献データベースの可視性を向上
 - ・ 日経新聞電子版 Windows8 専用アプリ
 - ・ 蔵書検索 スマホアプリのような発想は？

(*) 大学スマホアプリ、すでに徳島大学など。

<http://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/application.html>

(*) 蔵書検索アプリ：富士通 Ufinity

<http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/library/user/index.html>

3049

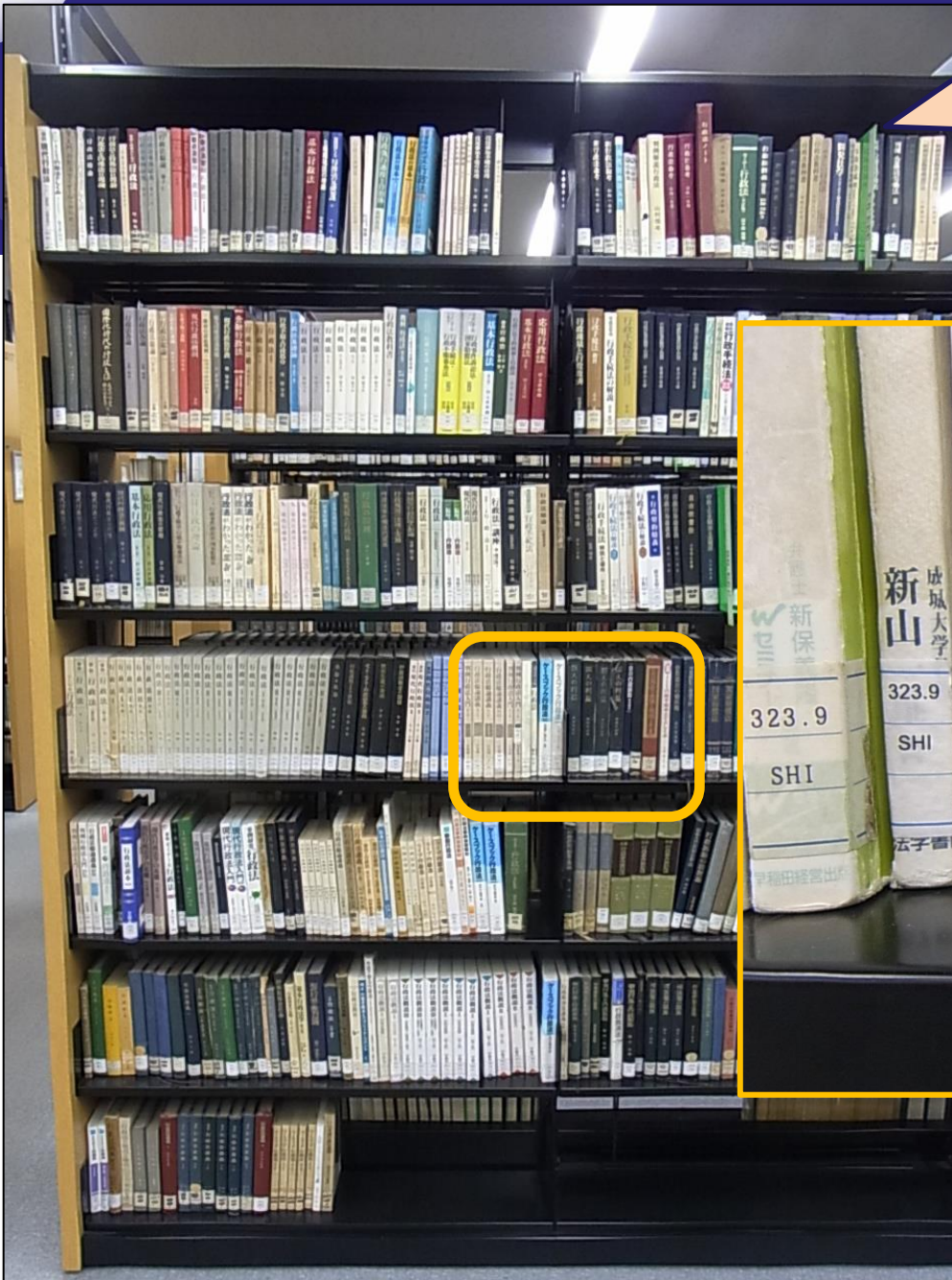
3050

320.8 320.8
| |
320.8 321
法 律 法 律 ・ 法 学

どれが見るべき情報が
伝達しないといけない？



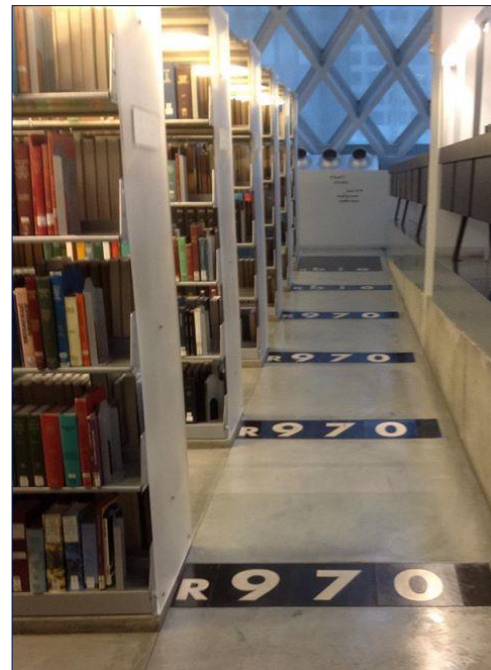
本の並びはどこで折り返しているか
説明しないとイケない？
* 書棚デザイン再考？



← University of
Pittsburgh,
Hillman Library
(2014.2)



↑ 名古屋大学 中央図書館
(*）写真は同館Webサイトから



← Seattle Central
Library (2015.8)

→ 新潟大学 中央図書館
(2015.9)



(2) ユーザインタフェースを考える

- 使い方を教えなくてよいデザイン



(矛盾?)

- 「一定の」トレーニングの必要性

※ディスカバリー・サービス想定。「現状では」との注記付き。

○ 全て説明不要とは言い切れない。

- ・ 社会一般のサービス状況で変化はある。
- ・ どの場面、どの程度か、ライブラリアンのセンス、「情報リテラシー」が問われる。

○ 顧客がトレーニングの必要性を予期するか

(2) ユーザインタフェースを考える

■ 「一定の」トレーニングの必要性

○サービスの認知、利用

- ・ Webサイトでの見せ方
- ・ サービス名称に留意
- ・ 学習研究の動機付けも関係

○「トレーニング」≠ 講習会/授業

- ・ 全学生が受けるはずもない
- ・ ショートビデオ、ポスター、目にとまる場所に掲出etc.
- ・ 機能向上や画面デザイン変更 ≡ 使いにくさ

○受け手の行動を意識する。

- ・ 「うまみ」をうまく味わってもらう。

→ 他の学生に拡散

* 本項の一部、ベンダー様との意見交換から³⁴



(3) 伝える内容を考える

- 大学/大学図書館の環境、ICT環境が変わってきて、伝えることは何か
 - 講習会に[わざわざ]来てもらえるか、図書館の使い方に興味を感じてもらえるかと、あえて問い直す必要はないか。
 - 図書館が行う教育活動はどうあるべきか。 各大学の教育改革の文脈で再考される必要があるはず。
「大学の教育改革に合わせた学習支援としての情報リテラシー教育への転換が必要であるということをベースに…」*(5) 茂出木報告
 - 「教育改革の文脈で」何か考えている教員がいませんか？ 探しますか？ 自分の路線で進めますか？

(3) 伝える内容を考える

■ 例えば…プレゼン入門：話す基本技術（講習）

時期	回数	実人数(のべ)	有用度 評価 (*)	
① 2012.2-3	基本編2回 × 4	31 (58)	4.50	
② 2012.9	基本編2回 × 2 + 発展編1回 × 1	15 (33)	4.56	発展編追加
③ 2013.2-3	基本編2回 × 6 + 発展編1回 × 2	40 (80)	4.64 オール5：6コマ	複数地区で開催
④ 2013.5	基本編2回 × 1 + 発展編2回 × 1	17 (35)	4.68 オール5：最終回	授業期に開催、 発展編2回化
⑤ 2013.9	基本編2回 × 2 + 発展編2回 × 1	15 (48)	4.79 オール5：3コマ	
⑥ 2014.2-3	基本編2回 × 6 + 発展編2回 × 2	43 (120)	4.62 オール5：3コマ	複数地区で開催

(*) 5(非常に有益)～3(普通)～1(役に立たない)

(参考資料*1)

教室

WHAT?
HOW?
WHO?

授業出張

ねらうのは
ココ

よせる (学習プロセスに)

(内容)
授業外

(内容)
授業

ツアー ガイダンス

↑単に導入とする
ことはある

文献探索講習

学習相談コーナー

リサーチサポート・デスク

レポート講習

プレゼン講習

ポスター

Web

ショートビデオ

メニュー化

教室外

ねらうのは
ココ

リザーブブック

※知的交流の
場・役割もある

(3) 伝える内容を考える

■ 図書館目線を排除できるか

○ インストラクショナル・デザイン

学習目標と動機付けを整理する (参考資料*2)

[「Information Literacy Instruction Librarian 育成事業」](#)

にもID他の e-learning あり。

○ どのような検索行動をしているか質問したことは?

○ コアユーザをターゲットに?

「これよかった！」という旨みを広げてもらう。

○ 個別対応、定例化、イベントカレンダーなどによって、ニーズを引き出す努力。

例：蔵書検索端末の横で札でも立てて…

(3) 伝える内容を考える

○「何をするのか？」

→皆さんの状況によって異なります・・・

相手目線で、最適解を 個別のDB? 一般的な使い方?

ライティング支援?

- ・実施、共催、協力する大学図書館は増加傾向
ライティングセンターも広がりつつある。
- ・新しいミッション? 図書館の仕事じゃない?
情報発信も情報リテラシー? 入手と評価に特化?
※「それって図書館のすること?」は、やめてほしい...
- ・定型業務に? 場所の提供/サービスポイントの統合?
サポーター/コーディネータに? プロデューサに?³⁹

(3-補) 顧客に分かりやすい言葉

■例：「OPAC」

- 即座に通じるか
- 覚えてもらうことが「情報リテラシー教育」か
- 登場後、20年ほど経過するが、未だに定着せず
- 今どき、オンラインでパブリック！？
- 英語ではありません(のはず)
- “NDL-OPAC”？

→「蔵書検索」「パソコンで検索」などは？

(2013.10.10付け朝日新聞. 教育欄の「成人力 日本は得点差最小」
には「図書館の検索システム」)

(3-補) 顧客に分かりやすい言葉

■例：「OPAC」

- 「愛称」で親しみ、分かりやすさという考え
→それで定着できる／伝わるなら否定しません
本学の例：KOAN（学務システム）
マイハンダイ（いわゆるポータル）
CLE（授業支援システム）

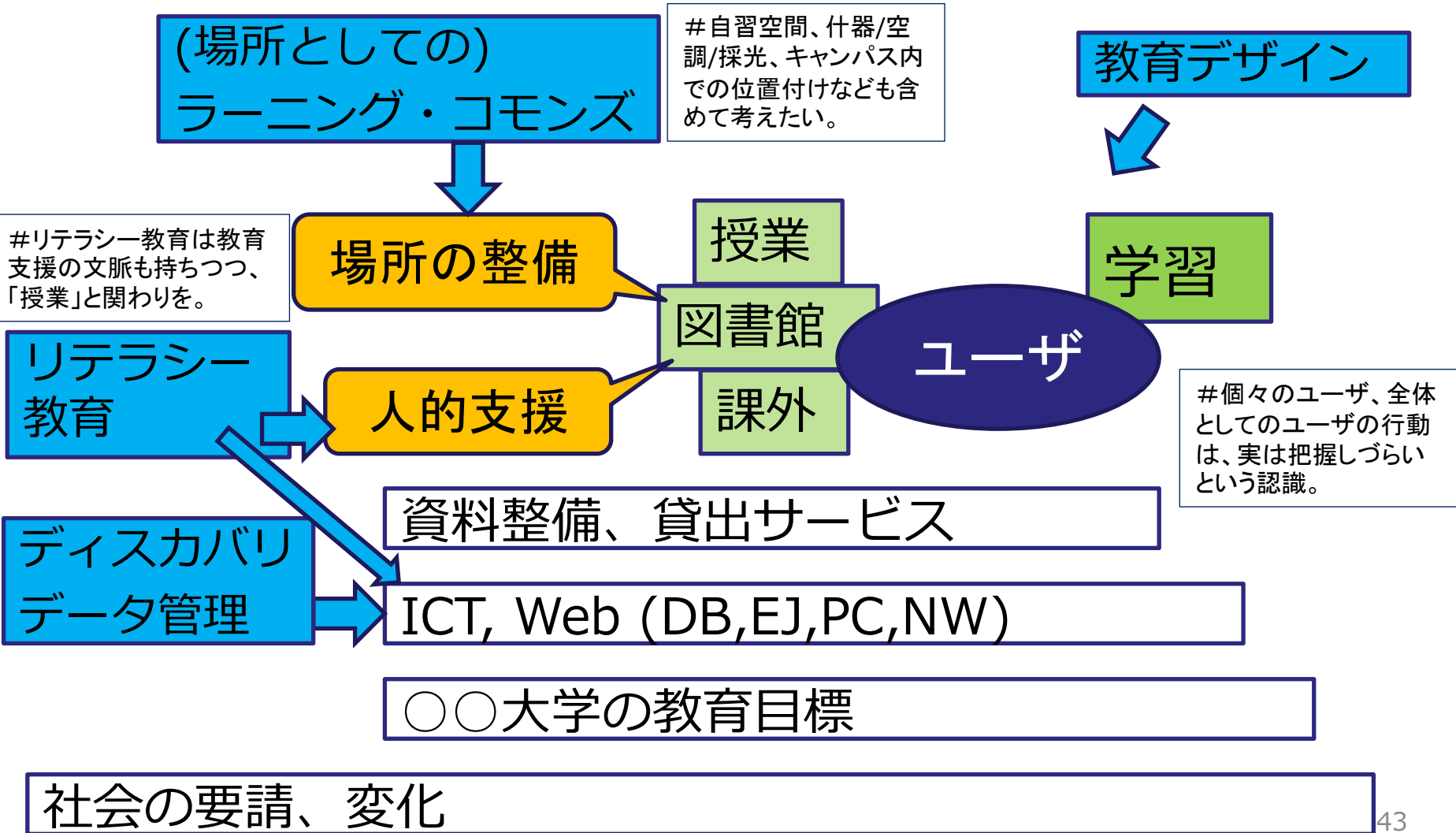
→留学生も考慮なら、グローバルスタンダードな名称で ※(外していない)海外事例も参考に
- ディスカバリ・サービス、電子リソースリストも同じ。

(3) 伝える内容を考える

- 教育学習への直接的な支援に…
- 学生ないし大学の環境を考慮し、
ニーズ把握の **トライ・アンド・エラー** をし
続ける

- ・ 時間、職員という身分の制限
- ・ 「時間を作る。仲間を作る」

(4) まとめ



(4) まとめ

■ 「合理的」とは

「目的」と「手段」の一致

○ なんの[誰の]ために

()

○ なにを

()

(4) まとめ

(最近手にした本から)

「**事業環境**や**顧客ニーズ**を明確に把握していないで、何が有効な**目標**か**戦略**かわかるはずがない」(p.59)

「**顧客**が真に求めているものを見極めれば、経営**目標**を立て…**戦略**を策定することができる。

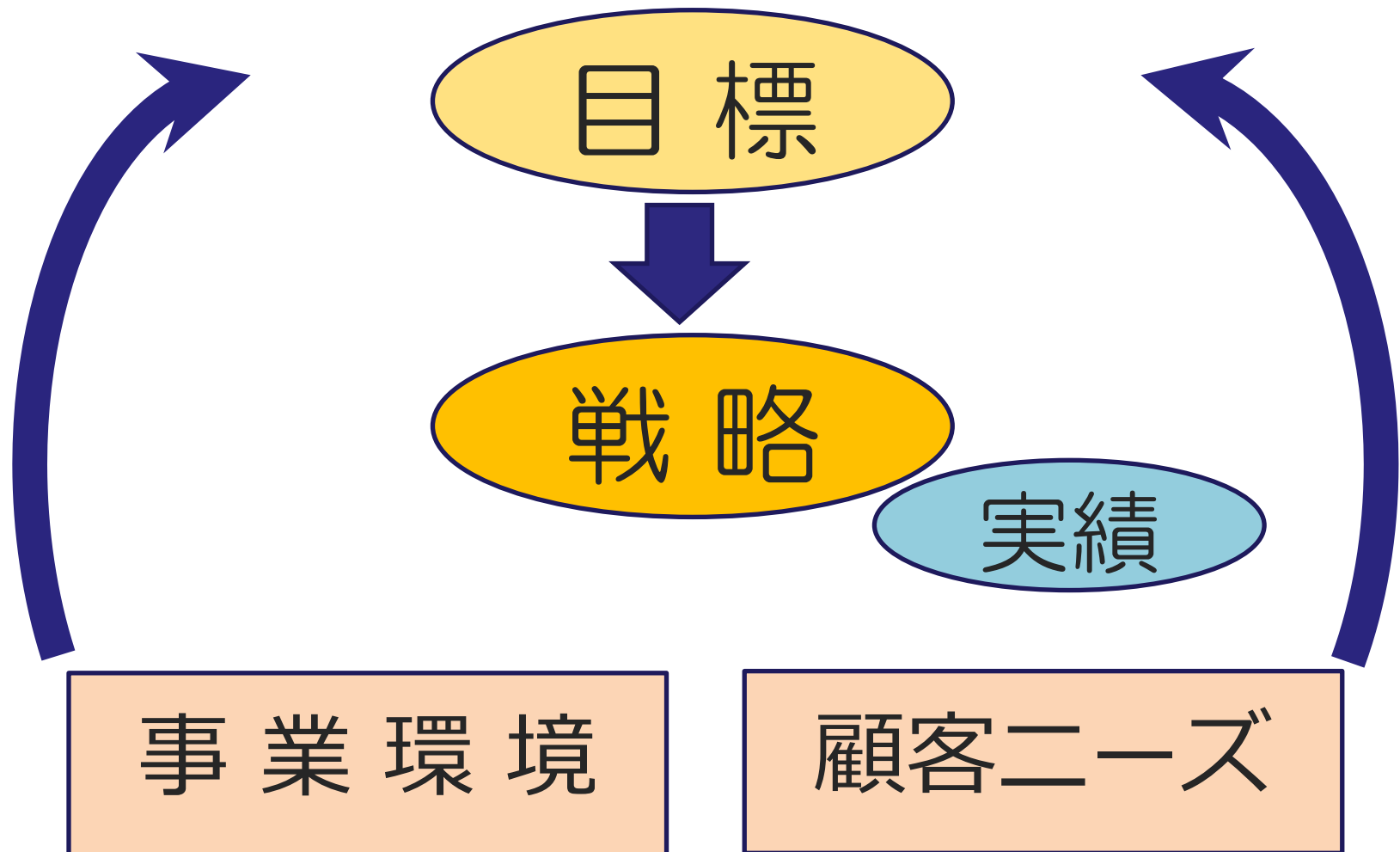
どんな**目標**であれ、**顧客**本位のものでなければならない…」(p.64)

*) 「真実の瞬間：SAS (スカンジナビア航空) のサービス戦略はなぜ成功したか / ヤン・カールソン」 (ダイヤモンド社、1990) から



(4) まとめ

(前ページを図式化)



(4) まとめ

「図書館の高度化じゃないんですよ、

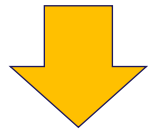
大学教育の高度化 なんです」

(本学経営企画系の某課長、当館グローバル・コモンズにて。2013。
「著作権フリー、引用不要です笑」と、ご本人。)

(4) まとめ



- 用語・概念の発展的解消へ（あえて挑発的な提起）
「情報リテラシー教育」



「教育学修支援」「研究支援」に

- ✓ 教育学修／研究のプロセスに埋め込まれる（対応する）
サービスへ
 - ✓ これまでの枠組みを広げる・深める
 - ✓ 「情報リテラシー教育」と呼称する必然性？
- * 分かりやすさ、「商品名」の観点
- * 名称を意図的に？変えている機関も（立教大学、北海道大学のサイト）
#風呂敷が広い？（逆に狭めて、「文献調査」「レポート作成支援」？）

(4) まとめ：余談(1)

- 「教員との連携」が課題？
→ 何のために、何をしますか（“仲良く”ではなく）
組織を一緒にする発想は？
- 「教育と連携」が課題？(シラバス読んでも分からない…)
→ 教務との人事交流は？ (2014:N大、H大で実施とか)
- 「スキルなどの引き継ぎ」が課題？
→ 「図書系」で異動？ 3年で異動？
「学修支援系」の異動パターンは？
(中規模以上の大学図書館の場合)

(4) まとめ：余談(1)

○皆さんの悩みは

「リテラシー教育のマーケティング」？

- ・ 図書館活動／教育改革のマーケティング？
- ・ 普段から、数字やお客さんの行動を改善に反映？

○ 「利用者」か「お客さん」か

- ・ 何らかの行動モデルを対象に求めているか
- 「添乗員から徹底して聞きまくり、喜ばれるサービスを研究してきた」

(加賀屋社長の講演。新潟日報 2014.11.27付け 日報抄から)
ニーズの把握、参加者数などの課題への対応に共通性

(4) まとめ：余談(1)

○部署を離れる時に、ご挨拶メールを送る教員等は何人いますか

(久保山：約24名。内17名は全学教育・学修支援関係。他はICT、国際交流、学生の活動支援など。その後転出された教員から「力強い味方を得た気持ち」)

○「情報リテラシー教育は大事」か？

→学修支援のために、最適か、有用か。

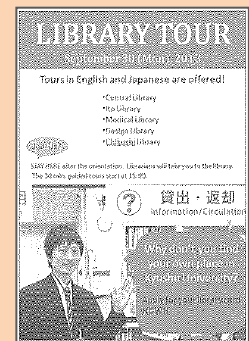
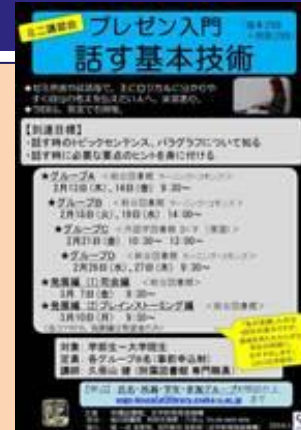
あくまでその手段。

※「いいものだと思った瞬間、目が曇るんです。『買わねえ奴が悪い』とか言って、高慢ちきになっちゃう」

(「プレジデント」2013.11.4.からエステー会長 ※個人メモから転記)

(4) まとめ : Tips

- 講習ポスターに「終了しました」→当面出しておく
- 館内配置のチラシ、話題のきっかけに
- ポスターに担当者名、顔写真、講習風景
- 名刺を名札ケースに
- 教員/学生 4人と雑談したら、何か見えてくる。(学生の様子、学生のレポートの書き方、XXの講習って知ってる? など定番ネタを)
- 授業暦をオフィスに貼る
- 詰め込まない。ユーザは「検索」に慣れている。
- “へー”と思ってくれる中味。
講習後に“何ができるようになっていくか”を意識。
- 館内の掲示、案内を精選
→ユーザに役立つだろう情報を目にとまる場所に



上)九大図書館、オリ
テでの配布チラシ(*6)

(4) まとめ : Tips

○1回生の早い時期に、授業一コマで図書館活用法の事例

- ・1回生の4~5月に覚えられることは限られるはず。



- ・覚えてほしい要点を絞れますか。

- ・それを最後の5分で繰り返し、強調。

例) 「ここから今日のまとめしまーす。〇〇で、私が大事って言ったことが3つあります。覚えてますか。じゃあ、あなた(指名)」

- ・時期を調整？
- ・必要度を感じさせるために、単位の脅し？ 効用を語る？
- ・「ガイダンス」でよい？ 教員にそう思われてる？

(4) まとめ

■今回 学んだことを

日常の行動・考えに
落とし込む

(4) まとめ

■ 皆さんへの期待

来週から、3, 6ヶ月以内に、自分がすること、目標とすることは、なに？

○ 来週から

()

○ 3ヶ月以内に

()

○ 6ヶ月以内に

()

※改善をはばむのは、環境？ 現状維持ベクトル？

(4) まとめ

「心の温度」

どう維持するか。

そのための仕掛けを自分で作る。

(学内職員研修での参加者の言葉。2013)

(4) まとめ：「学び続ける」

- **大学教育改革フォーラムin東海** (例年3月上旬の土曜)
名古屋大学。 <http://tokai-forum.jp/>
(*)システム担当ライブラリアンの日記：
http://blog.goo.ne.jp/kuboyan_at_pitt/e/bbfd84e2e0152bce448071f76b7dc0de
- **大学教育学会 2016年度 大会** (6月11日 (土) ~12日 (日))
立命館大学の大阪いばらきキャンパスにて
- **大学行政管理学会 定期総会・研究集会** (例年9月?)
SDや教職協働などのセッション <http://juam.jp/f/entry/about>

(4) まとめ：「学び続ける」

■ 「学び続ける」

○ フォーラム等の情報

- ・ **あさがおML** (京都大学高等教育研究開発推進センター)
<http://kyoto-u.s-coop.net/asagao/>
- ・ 大学マネジメント研究会 イベント情報カレンダー
<http://www.anum.biz/cont5/39.html>
- ・ 鹿児島大学 全国のFD・SD関連フォーラム・セミナー
<http://www.kagoshima-u.ac.jp/education/23.html>
- ・ 大学職員の書き散らかしBLOG
大学職員系イベントカレンダーを作りました。
<http://kakichirashi.hatenadiary.jp/entry/2014/11/30/211809>

(4) まとめ：「学び続ける」

■ 「学び続ける」

○ ブログ（例）

- 大学を考える人のblog

<http://blog.livedoor.jp/kickkeko-rollintheair/>

- 大学職員.net -Blog/News-

<http://blog.university-staff.net/>

* RSSリーダー。“Feedly” など

(4) まとめ

■ 本講義の要点

「情報リテラシー教育の再考」

◆ 大学教育との距離の縮め方を考える

-- 顔の見える関係から問題意識・関心の共有 --

◆ ユーザインタフェースを改めて考える

-- フロントにいる人も説明不要のデザインを --

◆ 学生に伝える内容を考える

-- 直接的な支援に向けてトライ・アンド・エラーを --

(4) まとめ

■ あえて(!) ムービーにて

■ 目的

- ・ 講義のまとめ 50%
- ・ “学生を飽きさせない”、“省力化”の
悩みへの対策例として 50%

※出来映えは無視(汗)。素人でもできた例。

※使用の際は、顧客のニーズ、伝え方の技術への配慮も

(参考：初めてのムービー作成)

■ Microsoft ムービーメーカー (Windows 8.1にて)

- * 試作品完成に2時間少々 (自力で)
- * 構成、字幕の表示時間、イメージ表示時間は配慮
- * 参考動画 <https://www.youtube.com/watch?t=10&v=g8CE0kITNfA>

※作業メモ

- ・ タイトル、再生時間
- ・ 写真の追加、キャプション、テキストの表示時間
- ・ オートムービーのテーマ
- ・ 音楽の追加 (Webから)、フェードアウト

* 大阪大学 教育学習支援センター 特任研究員 根岸千悠氏の助言を頂きました。

(参考：初めてのムービー作成)

■他に、Office Mix

「スライドを見せながら説明している状況そのものを録画できます」 <http://ict.edufolder.jp/archives/717>

■スマホ (Android) アプリの「Movie Creator」でも作れるとか。

* 大阪大学 教育学習支援センター 特任研究員 根岸千悠氏の助言を頂きました。

(4) まとめ・補：これも「連携」？

■ 交流の場としての図書館 = 「図書館のポテンシャル」

※考えの交流。単なる学習支援に留まらず、大学をよくするための声を聞き、一緒に考える。

→ 「学生選書 参加者交流会」 (2014~)

■ 阪大生の「教養」形成の手伝い = 「近代・現代の古典」

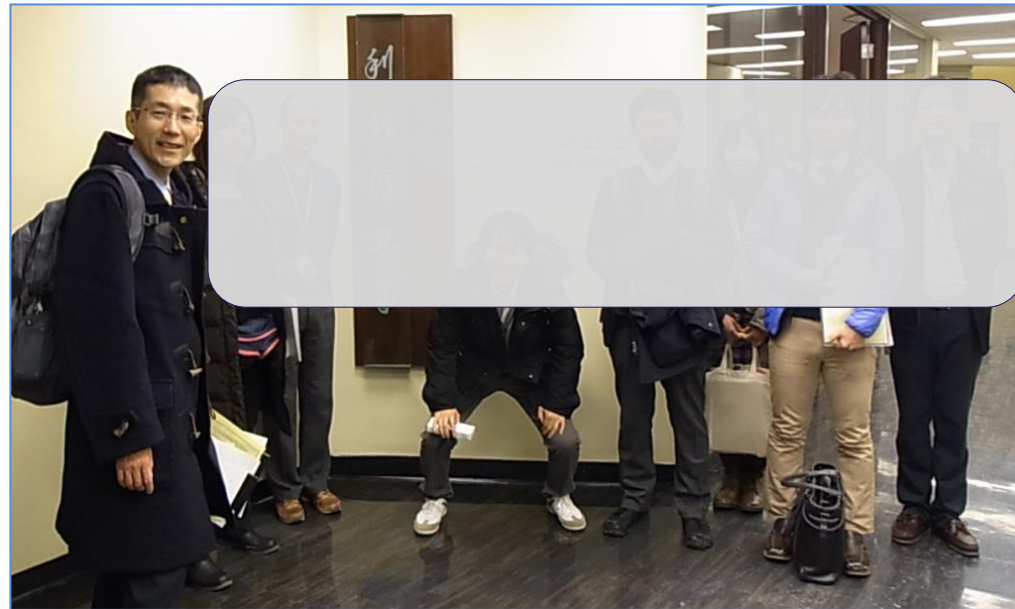
→ 「ブックコレクション
書評対決」 (2014~)

[動画へのリンク](#)



(4) まとめ・補：これも「連携」？

- 海外視察 with 共通教育・経営企画・広報担当
- グローバル・コモンズが学内研修につながり、
コラボ海外視察に展開 (2014.2)
- ・ トロント大学
- ・ ピッツバーグ大学



(4) まとめ・補： 空間のデザイン

■ リテラシー教育／学修支援の関連要素

- 組織目標（運営の土台となる）
- 他部署との連携（必須ではないが、エンジンになり得る）
- 部局内マネジメント
- 空間のデザイン
- 人財（定型、コーディネート、プロデュース、エクスパンド）
- コンテンツ
- 授業との関係（授業での内容は扱いにくい。授業に基づく学習）
- マンパワー（どう生み出すか）

※ 視察を受けた時、私的にまとめた項目

(4) まとめ・補：空間のデザイン

■空間のデザイン

“ハコモノでいいのか”という議論の一方、学習を促進させるノウハウ、視点、機材の知識などは？

○素人なりにできることはないか

- ・メジャー持参の視察
- ・既存施設での観察調査、インタビュー調査
(学食で調査したという某国立大学図書館も)
- ・ファーストフード店、ファミレス等での内装：大きさ、色や素材
- ・高校までの教育環境、ICT環境

○レファレンス「カウンタ」の行く末

- ・「カウンタ」という配置。無意識にユーザ側／職員側と分けていないか。
- ・TA、学生スタッフの存在
- ・Appointment Model は国内ではきびしい？

(4) まとめ・補：余談(2)

○職場での行動や思考の様式を変える

- ・ 控え目、評論家タイプなどと言われる
- ・ 同質的と言われる(国内の企業よりも)
- ・ 再考ないし再構成のスピード

※「類は友」「朱に交われば」……

- ・ 少し鈍感な（顧客目線を持った）出る杭に
- ・ 「反省するような奴は行動力がないから、新しいものができない」（「プレジデント」2013.11.4号、エステー会長の言葉）

意見交換（時間があれば）

■ 目的

- 各自の振り返りを他者と共有
- 他者の感想や考えを聞くことで、理解が深まり、自分の考えも相対化

■ 進め方

- 個人作業
- 4人グループでシェア
「!」「?」をベースにしてもよい。

※司会は決める

司会：限られた時間で、メンバーの考えの共有が最大化されるように進行。

(本発表の参考資料)

- (1-1) 久保山健. 図書館スタッフによる学習支援の実践 : 「プレゼン入門 話す基本技術」. 大阪大学高等教育研究. 1. 2013
<http://hdl.handle.net/11094/24850>
- (1-2) 久保山健(ほか). 図書館スタッフによる学修支援の実践、および事後評価 : 「プレゼン入門:話す基本技術」. 大阪大学高等教育研究. 3. 2015
<http://hdl.handle.net/11094/36154>
- (2) 兵藤健志ほか. 大学図書館活用セミナーをリデザインする : インストラクショナル・デザインを意識した図書館ガイダンスの取り組み. 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2011/2012. <http://hdl.handle.net/2324/24952>
学生の状況を考慮し、学習目標および動機付けをきちんと整理して実践している好事例
- (3) 情報リテラシー研修で言えなかったこと。OPACという用語を段階的縮小へ (2012.12.1).
http://blog.goo.ne.jp/kuboyan_at_pitt/e/a503d2bbe4107af1bf5171579b2059a
[a](#)
- (4) 「OPACという用語を段階的縮小へ」の追記 (2012.12.31).
http://blog.goo.ne.jp/kuboyan_at_pitt/e/0878cf3d1b7ff08014f1a670963e3c2b

(本発表の参考資料)

- (5) 茂出木理子. 学習支援としての情報リテラシー教育：これまでとこれから. 大学図書館研究. 100. 2014
- (6) 工藤絵里子. 九州大学附属図書館における新入留学生向け図書館サービス. 医学図書館. Vol60, no4. 2013. p418-423
- (7) ブックコレクション ～ 教員 VS 学生【書評対決】～.大阪大学生生活協同組合. http://www.osaka-univ.coop/event/07_4.html
- (8) 小貫有紀子. 学習促進者としての役割を認識し、教学マネジメントを担う. BETWEEN. 2014年1月号. P.9-10. http://shinken-ad.co.jp/between/backnumber/pdf/2013_12_tokushu03.pdf
- (9) Information Literacy Instruction Librarian 育成事業. 名古屋大学附属図書館ほか. <http://el.nul.nagoya-u.ac.jp/instruction/>

※過去に同じタイトルで行われた天野絵里子氏の資料のアイデアも援用。

(本発表の参考資料)

(その他：講師の関係する資料)

(s1-1) 久保山健. 大阪大学の新たな学習空間「グローバル・commons」:その整備と教育実践. 大阪大学高等教育研究 2 2014.3.

<http://hdl.handle.net/11094/28107>

(s1-2) 久保山健(ほか). 図書館スタッフによる学修支援の実践、および事後評価：「プレゼン入門:話す基本技術」. 大阪大学高等教育研究. 3. 2015

<http://hdl.handle.net/11094/36154>

(s2) ブックコレクション 書評集

(s3) 朝日新聞（声）「論文は構造を考えて執筆を」（2014.4.21）

(s4) 学内研修の事前課題から一部抜粋したもの

大学教育、留学、大学図書館関係の新聞記事の紹介

* 一部を会場で配布予定

(ラーニング・コモンズに関する参考資料)

- (11) 米澤誠. インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ：大学図書館におけるネット世代の学習支援. カレントアウェアネス, No.289. 2006.9.20
<http://current.ndl.go.jp/ca1603>
- (12) 米澤誠. ラーニング・コモンズの本質：ICT 時代における情報リテラシー／オープン教育を実現する基盤施設としての図書館. 名古屋大学附属図書館研究年報. No.7. 2008.
http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/pdf/annals_07.pdf
- (13) 永田治樹. 大学図書館における新しい「場」：インフォメーション・コモンズとラーニング・コモンズ. 名古屋大学附属図書館研究年報. No.7. 2008.
http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/pdf/annals_07.pdf
- (14) 永田治樹. 図書館とインフォメーション・コモンズ：情報社会における共有資源. 情報管理. Vol.53, no.7. 2010.
- (15) 米澤誠. 学びを誘発するラーニング・コモンズ. カレントアウェアネス, No.317. 2013.9 <http://current.ndl.go.jp/ca1804>

(情報リテラシー教育に関する参考資料)

- (21) 久松薫子、西脇亜由子、矢野恵子. 「図書館活用法」プログラム評価活動報告. 図書館の譜 (明治大学図書館紀要) 13. 2009
- (22) 矢野 恵子、久松 薫子. 「図書館活用法」プログラム評価活動報告(2). 図書館の譜 (明治大学図書館紀要) 15. 2011
情報リテラシー教育の評価活動の好事例
- (23) 茂出木理子. 学習支援としての情報リテラシー教育：これまでとこれから. 大学図書館研究 100. 2014
まさしく“これからとこれから”を整理している。必読。

(学修支援に関連する答申等)

- (31) 大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像（平成22年12月 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会）
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm
- (32) 上記の概要：
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1306126.htm
- (33) 学士課程教育の構築に向けて（答申）2008(H20).12.24 中央教育審議会
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2008/12/26/1217067_001.pdf ※10/23 リンク切れ？
- (34) 大学教育の分野別質保証の在り方について 2010(H22).7.22 日本学術会議
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-k100-1.pdf>
- (35) 「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」（審議まとめ）2012(H24).3.26 中央教育審議会大学分科会大学教育部会
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm

(学修支援に関する答申等)

- (36) 学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）．
2013(平成25).8. 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/houkoku/1338888.htm

(参考) オススメ本

(41) 「『分かりやすい表現』の技術—意図を正しく伝えるための16のルール」 講談社ブルーバックス (1999/3)
オススメ

<過去の受講者の評価・コメント> ※Webフォームでアンケート。以下同じ。

☆☆☆☆ 1名、☆☆☆ 1名

「第4章「分かりやすい表現」のルール・ブックのチェックリストが大変参考になりました。」
(匿名・2014受講)

(42) 「駅をデザインする」 ちくま新書 (2015)

国内と海外の駅を事例に、分かりやすい表現、空間デザインが分かる。写真も豊富。P78の案内板は感動的な分かりやすさ (横浜駅?)₇₇

(参考) オススメ本

(43) 「100円のコーラを1000円で売る方法」 中経出版 (2011/11)

2時間くらいで読める軽い内容だが、マーケティングや企業価値のイロハを考えられる。

<過去の受講者の評価・コメント>

☆☆☆☆ 1名、☆☆☆ 1名

「軽快な文章で読みやすく、ゆえに内容も頭に残りやすい。
企画立案の際の注意点がわかる。

本の性格上 仕方のないことだとは思いますが、思慮浅い女性を年上の男性が諭すストーリー仕立てとバブルの残り香が読んでいて気になり、読後感が良いとは言えませんでした (笑) 」 (F.Y.さん・2014受講)

(参考) オススメ本

(44) 「『ありがとう』といわれる販売員がしている6つの習慣」 同文館出版(2010)

顧客とのコミュニケーションにたくさんのヒントが得られる。類書は多いが、発表者にはとてもフィットした。比較的軽い内容。

(45) 「真実の瞬間：SAS (スカンジナビア航空) のサービス戦略はなぜ成功したか」 ダイヤモンド社 (1990)

* 関連コラム

- ・ わずか1年で黒字転換した航空会社
従業員意識を変えた「世界最高のサービス」宣言
<http://diamond.jp/articles/-/37615>
- ・ 経営を劇的に改善するキーワード「真実の瞬間」とは
<http://japan.zdnet.com/article/35039013/3/>

(46) 「SEの勉強法」 日本実業出版社 (2010/5)

システムエンジニアって関係ないと思ったら大間違い。仕事の進め方、まとめ方を解説。兄弟本もあり。

(参考) オススメ本

(47) 「学びの空間が大学を変える」 山内 祐平ほか. ボイックス株式会社 (2010)

どちらかと言うと空間や設備論? しかし、大事なポイント。

<過去の受講者の評価・コメント>

☆☆☆☆ 2名

「事例が詳しく、デザインや什器について、採用に至るまでの過程・選択理由がわかり参考になる。

同じ規模は無理でも、考え方や工夫した点などは参考になり、活かすことができそう。写真多くわかりやすい。

「紹介された図書館の10年後がどうなっているのか、興味がわきました。」 (F.Y.さん・2014受講)

(参考) オススメ本

(48) 「大学とは何か」 吉見俊哉著. 岩波新書 (2011)

大学の歴史、現在の大学の位置付けを解説。日本の大学はどう始まったか。学生運動はなんだったのか。私立・国立を巡る政策の経緯なども。

<過去の受講者の評価・コメント>

☆☆☆☆ 1名、☆☆☆ 1名

「リテラシー教育の実務にはあまり関係がないように思われますが、「大学」という存在について学び、考えるよい機会になりました。」

(匿名・2014受講)

(参考) オススメ本

(49) 「アメリカの大学・ニッポンの大学：TA、シラバス、授業評価」 荻谷剛彦著.中公新書ラクレ (2012)

92年の復刊だが、アメリカの教育事情、それをモデルにしている近年の日本の事情を理解する手助けになる。

<過去の受講者の評価・コメント>

☆☆☆☆☆ 1名、☆☆☆☆ 2名

「今では日本の大学でも普通に行われているTAやシラバス、授業評価の導入が、アメリカでは当初どのような目的で行われていたのかがわかりやすく説明されておりとても興味深かったです。

同著者の作品、「知的複眼思考法 誰でも持っている創造力のスイッチ」(講談社+a文庫)は、学生に読んでもらいたい1冊です。」 (匿名・2014受講)

(参考) オススメ本

(50) "gacco" で「ga017:インタラクティブ・ティーチング」

受講開始日:2015年11月18日

オススメ。

内容はもちろん、10分程度の動画で学習する実例を体験できる。

各週の締切に追われることで、学習継続になるかもしれない。

(51) 「世界のラーニング・コモンズ」 溝上智恵子編著. 樹村房 (2015)

第15章に「日本の大学図書館における学習支援の現状」あり。

(52) 「スライドデザインの心理学」 加藤智也. 翔泳社 (2015)

文字の大きさなど基本的なことから、写真の編集など、実例を交えて解説。

(53) 「UI(ユーザーインターフェース)デザインの心理学」 ジェフ ジョンソン著. インプレス (2015)

汎用的な内容に加え、コンピュータ画面の例も多い。やや専門的か。